

大韓民国釜山市

●調査項目

釜山朝鮮通信使歴史館について

・調査対象者

なし

・調査項目

平成28年4月3日（日）午後3時～午後5時

・市の概要

人口：356万人

・調査目的

呉市下蒲刈町は、江戸時代に朝鮮通信使が訪れた地であり、平成13年からは毎年10月「朝鮮通信使再現行列」が行われている。

又、我が国では日韓の友好親善を目的とする朝鮮通信使緑地連絡協議会や、朝鮮通信に関する資料が各地に残っている。釜山市にも資料館が完成したことにより、施設視察を行い、今後の日韓の交流に役立てるために訪問した。

・調査内容

第1展示室では、通信使の定義と日本との国交回復の過程を分かりやすくアニメーションで見ることが出来た。通信使の人物や旅行日程、日韓外交の中心地など詳しく説明されていた。又、子どもの目線に合わせて制作された3D立体映像を視聴する映像室も設けられてあった。

第2展示室では、朝鮮通信使が乗った船の模型が展示されていた。

マルチメディア技術を活用した展示内容であった。

【呉市での展開の可能性】

当初、HPなどで釜山市の名所にもなるなど期待していたが、コンパクトな施設であった。しかし、朝鮮から江戸への道のりをジオラマ等の展示により詳しくわかりやすいものであった。

規模は小さい歴史館ではあったが、色々工夫された展示内容で大いに参考になった。呉市にも様々な歴史資料館や博物館があるが、国内に留まらず、海外へ向けて広く知っていただくように努めていかなければならないと考える。

大韓民国昌原市

●調査項目

第一副市長及び市議会議長への表敬訪問と鎮海軍港まつり視察

・調査対応者

なし

・調査期日

平成28年4月4日(月) 午前11時～午後4時

・市の人口：108万人

・調査項目

昌原市幹部職員との表敬訪問による友好親善の強化と旧鎮海市職員との交流と鎮海軍港まつりの視察

・調査内容

昌原市は、平成11年旧鎮海市から姉妹提携し、平成22年の新昌原市へ統合されてから、交流して16年を迎えました。

今後も両市の友好関係を、より深めるため昌原市に表敬訪問をした。当日は市長が不在のため、昨年来呉された第一副市長を表敬訪問。また昌原市議会議長及び議員と交流した。

【呉市での展開の可能性】

昌原市議会へ表敬し、また議事堂及び会議室を見学した。設備は最新であり、きめ細かく配慮されているところが多々あった。例えば議長用に原稿モニターがあり、リアルタイムで内容が確認できる仕組みとなっている。また委員会室での要約筆記が逐次ディスプレイに表示されるシステムになっているなど呉市でも参考にしたいと思った。

呉市新庁舎が完成したこととをきっかけに、次回は昌原市が呉市を訪問されることを期待している。

韓国釜山市

●調査項目

釜山新港施設について

・調査対応者

なし

・調査期日

平成28年4月5日（火）午前10時～午後12時

・市の概要

人口：356万人

・調査目的

世界最大級のハブ港である釜山の港湾施設の現況及び利用状況等を調査する。

・調査内容

釜山新港は、1997年に着工してから今もなお拡大を続けている。現在20隻余りものコンテナ船の同時着岸が可能で、一万個の積みの超大型コンテナ船が自由に接岸できる最先端の港湾機能を持つ施設である。

2030年の完成に向けて、更に拡大を続ける。更にその周辺にはビジネススペース、住居スペース、商業スペースが整備されている。

・呉市での展開の可能性

呉市では、阿賀マリノ地区があるが、水深がないので、大型船での輸送が適しておらず、釜山新港のような大規模な整備は難しいと考える。これだけの施設を整え物流拠点となることは、市にとっても大きな活性化に繋がると考える。更に周辺整備も併せてすることから、経済効果及び人口増に繋がると考えられるので、呉市においてもこうした事例を参考にした施策展開も必要ではないかと感じた。